

令和6年度一般会計当初予算の特徴

1. 当初予算額 264 億 4,000 万円 (対前年度当初比 3.4%)

※令和5年度当初予算額 603 億 7,900 万円

2. 市税収入 324 億 8,102 万円 (対前年度当初比△3.0%)

○ 主な要因は下記のとおり

- ・個人市民税 対前年度当初比 △ 9.1%
- ・法人市民税 対前年度当初比 △ 1.1%
- ・固定資産税 対前年度当初比 △ 0.8%

3. 歳入予算の特徴

- 個人所得は増加傾向にあるものの、制度改正や定額減税の影響により、個人市民税を減収と見込んだことなどにより、市税は対前年度当初比で減額となりました。なお、定額減税にかかる7億円余は全額が地方特例交付金で補てんされます。

また、国庫支出金が扶助費の増に伴い増額、繰入金が財政調整基金繰入金の増により増額、市債が土木債の増などにより増額となりました。

- ・国庫支出金 対前年度当初比 +10.2%
- ・繰入金 対前年度当初比 +16.3%
- ・市債 対前年度当初比 +40.5%

4. 財源構造

- ・一般財源比率 66.1% (▲1.6 ポイント (前年度当初 67.7%))
- ・特定財源比率 33.9% (+1.6 ポイント (前年度当初 32.3%))

- ・自主財源比率 66.6% (▲2.4 ポイント (前年度当初 69.0%))
- ・依存財源比率 33.4% (+2.4 ポイント (前年度当初 31.0%))

5. 歳出予算の特徴

- 民生費が、対前年度当初比 8.1%、19 億 6,200 万円余の増となりました。

主な要因は、障害者自立支援等給付事業の増などによります。

- 総務費が、対前年度当初比 5.3%、3 億 2,300 万円余の増となりました。

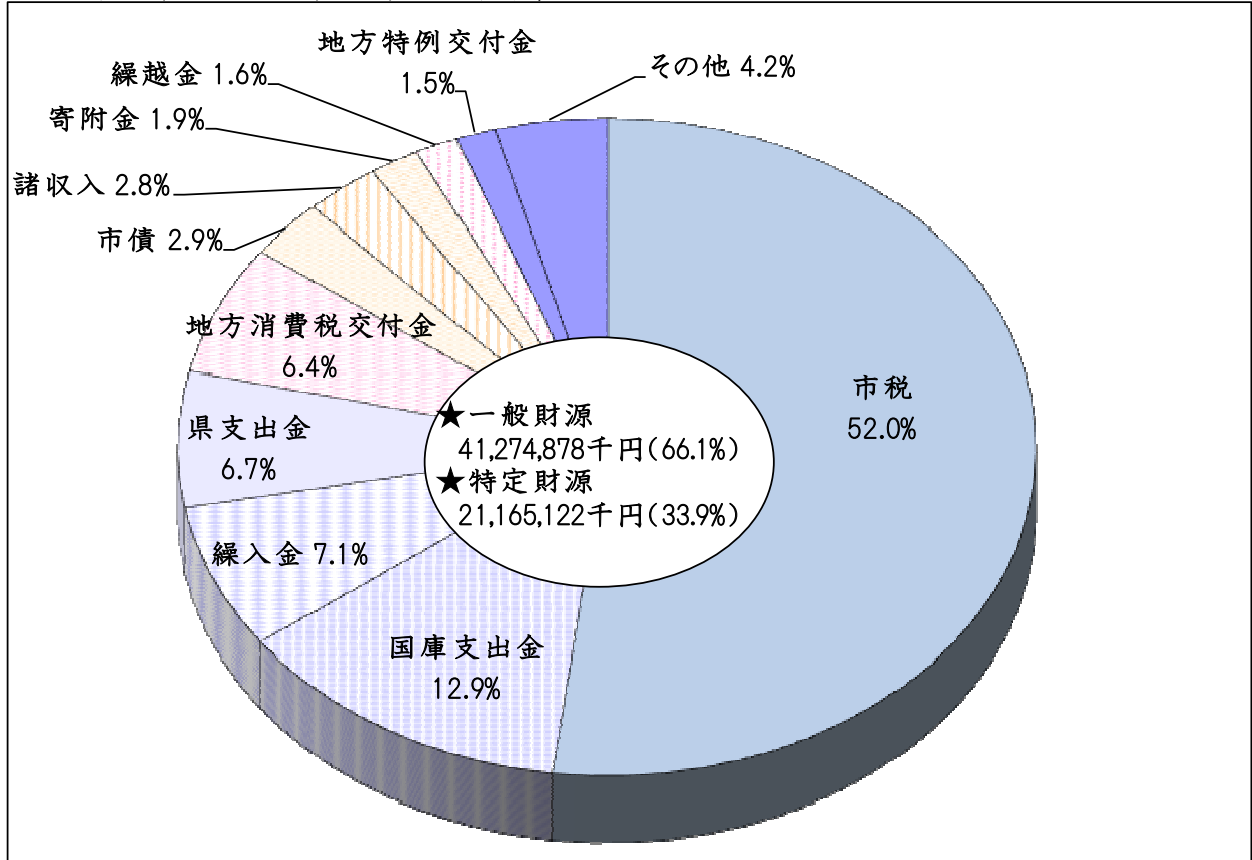
主な要因は、退職手当等の人件費の増などによります。

- 土木費が、対前年度当初比 4.5%、3 億 2,200 万円余の増となりました。

主な要因は、北西部地区公園整備事業の増などによります。

令和6年度小牧市一般会計当初予算

歳入総額 62,440,000千円



歳出総額 62,440,000千円

